

漱石記念年イベント (2016年来熊120年、没後100年/2017年生誕150年)

Y U M E - K U S A M A K U R A



Hando Kazutoshi 《夏目金之助ときよ》



# 実施報告書

峠の茶屋の花吹雪

夢・草枕

新宿  
公演

新宿区四谷区民ホール  
2015年8月29日 [土]

●昼公演 / 開演14時～  
●夜公演 / 開演18時～

熊本  
公演

市民会館崇城大学ホール  
2015年9月2日 [水]

●開演18時30分～

【主 催】 漱石来熊120年イベント「夢・草枕」制作上演委員会

# 漱石来熊120年プレイベント 「夢・草枕」新宿・熊本公演

## 開催概要

### 企画概要

来年2016年は、漱石来熊120年、2017年には生誕150年を迎えます。これから始まる一連の行事の“華”として、半藤一利作の『夢・草枕』を新宿で上演、さらに熊本でも凱旋公演を行い「漱石のいた熊本」を全国にアピールします。

漱石は4年3カ月の間、熊本に暮らし、家庭を営み、こどもを得、千句もの句を残し、さらに名作『草枕』『二百十日』の題材になりながら、松山に比べて漱石に関しての熊本の知名度は低く、発信力が乏しいと言われています。

今回上演する「夢・草枕」の脚本家・半藤一利氏は著名な作家で、妻の末利子さんは漱石の孫にあたります。熊本の文化振興、新宿区等との地域間交流に大きく寄与し、「漱石来熊120年・生誕150年」事業の展開に貢献したいと思っています。

### 【公演日程】○新宿公演 新宿区四谷区民ホール

2015年8月29日(土) 昼公演 開演14時～16時終演

夜公演 開演18時～20時終演

### ○熊本公演 市民会館崇城大学ホール

2015年9月2日(水) 開演18時半～20時半終演

### 【入場料】 3千円(新宿・熊本公演とも、税込み)

チケットぴあPコード: 445113

### 【主催】 漱石来熊120年プレイベント「夢・草枕」制作上演委員会

実行委員長 小野友道

### 【共催】 新宿区、熊本市・熊本市文化事業協会、熊本日日新聞社、朝日新聞社、

熊本近代文学館友の会、熊本芸術文化学術振興市民財団

### 【後援】 熊本県、熊本県文化協会、熊本市美術文化振興財団、玉名市、阿蘇市、

くまもと漱石倶楽部、NHK熊本放送局、RKK、TKU、KKT、

KAB、FMK、FM791

### 【協力】 熊本近代文学館

## 【内 容】

『漱石記念年イベント「夢・草枕 一峠の茶屋の花吹雪―」』

作・半藤一利、演出・漱石役 浜畑賢吉

新宿・熊本を結ぶ舞台劇第4弾！山路を登りながら、こう考えた。知に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ…。名作『草枕』を彩なす人間模様。夏目金之助が見た真実とは一。見事、峠の茶屋に花吹雪を舞わせましょう。

あらすじ：熊本市西郊の金峰山、峠の茶屋。五高の教授夏目金之助と学生らの一団、そして画工が登ってくる。画工は非・人情の世界を求めていた。那古井の温泉で金之助らと一緒にいる。旅館の若おかみは不思議な雰囲気を持った女で、画工はいつしか彼女に魅かれて行くのを感じた。昼間に会った禅寺の和尚が与えた公案に悩む夜、まさに幻想的で奇妙な夢を見る。明治三十年春。三日間の出来事である。

脚 本	半藤一利 (作家)	出 演	夏目金之助 浜畑賢吉
制作統括	大江捷也 (熊本近代文学館友の会代表世話人)	画工寒月 桑路ススム	那美 邑来みほ
企 画	井上智重 (熊本近代文学館館長)	夏目きよ 山本真由美	五校生寺田 徳富敬隆
演 出	浜畑賢吉 (俳優・漱石役)	五高生小宮 山田 聖	五高生坂元 玉垣哲朗
演出補	堀田 清 (熊本演劇人協議会顧問)	大徹和尚 谷川信雄	床屋三平 石川雅道
舞台監督	五島和幸 (熊本演劇人協議会)	小坊主了念 吉丸和孝	馬子源兵衛 西山広成
作曲演奏	今藤珠美	茶屋の屋尾 井芹誉子	お作 重岡聖子
照 明	色川 伸	おとよ 飯富美雪	夢の中の女 高濱流光華々
舞台美術	吉本美術		
舞台監督	五島和幸		
音 響	菊本 明		
衣 装	小石制作所		
小 道 具	飯富美雪		
化粧着付	山田夢子		
協 力	熊本演劇人協議会 市民舞台、劇団石 劇団ゼロソー DOGANG 劇団みちくさ 松竹衣装株式会社 株式会社山田かつら 藤浪小道具株式会社		

制作上演委員会実行委員

顧問 副島 隆(お菓子の香梅代表取締役会長、熊本近代文学館友の会員)

委員長 小野友道(夏目漱石記念年100人委員会委員長、  
熊本芸術文化学術振興市民財団理事長、熊本近代文学会員  
元熊本保健科学大学学長)

副委員長 大江捷也(熊本県文化協会常任顧問・熊本近代文学館友の会代表世話人)  
(制作統括)

副委員長 井上智重(熊本近代文学館長、日本文藝家協会会員)  
(企画・広報)

委員 山崎崇伸(熊本市文化事業協会会長)  
小川芳宏(熊本県文化協会相談役)  
栗谷利夫(近代経営研究所所長)  
村上輝和(熊本県文化協会副会長)  
中村青史(元熊本大学教授、日本文藝家協会会員、熊本近代文学館友の会員)  
和田正隆(くまもと漱石倶楽部会長、熊本近代文学館友の会員)  
吉村孝之(夏目漱石記念年100人委員会)  
高濱和夫(熊本保健科学大学教授、熊本近代文学館友の会員)  
池下敬一郎(熊本日日新聞社事業部長)  
條 秀夫(一般財団法人熊本公德会事務局長)  
児島雄一(熊本芸術文化学術振興市民財団)  
中田整一(ノンフィクション作家、東京在住)  
武田邦彦(くまもと漱石倶楽部会員、東京在住)  
小野尚純(会社経営、東京在住)  
笹原元子((株)お菓子の香梅総務課長)

柘植周子(熊本近代文学館友の会)  
川井捷利((熊本近代文学館友の会員)  
寺尾禎子(熊本近代文学館友の会員)  
相藤克秀(熊本近代文学館友の会員)  
斎藤輝代(熊本近代文学館友の会員)  
向井ゆき子(熊本近代文学館友の会員)  
田代格(熊本近代文学館友の会員)

会計渉外 林田真(熊日生涯学習プラザ)

監 査 園田洋一郎(熊本近代文学館友の会員)  
本田憲之助(熊本近代文学館友の会員)

朝日新聞首都圏版に掲載された新宿公演の記事

舞台・音楽

漱石ゆかり 新宿・熊本つなぐ

夏目漱石にゆかりのある東京都新宿区と熊本をつなぐ舞台「夢・草枕 峠の茶屋の花吹雪」(半藤一利脚本)が8月末に新宿区立四谷区民ホールで上演された。昼夜公演で計約650人の観客が訪れた。来年の漱石の旧制五高赴任120年と、2017年の生誕150年の「夏目漱石記念年」に向けてのプレイベントと位置づける。

漱石の「草枕」を題材にした創作劇で、浜畑賢吉が演出と、夏目金之助(漱石)役を務めた。画工の寒月(桑路ススム)と那古井温泉の旅館の若おかみの那美(邑来みほ)の恋愛模様を中心に、漱石や妻きよ(山本真由美)、五高生の会話で盛り上げた。浜畑以外の役者たちは熊本の複数の劇団から参加。最後にくまモンも登場した。

「峠の茶屋」の84歳のおばあちゃん屋尾は「そぎゃんこつば(そんなことを)言いよる」「団子の粉もひかずにあったばってんが」など熊本弁でまくし

くまモンも登場した舞台「夢・草枕 峠の茶屋の花吹雪」



たてて観客の注目を集めた。

演じたのは地元の劇団の39歳の井芹誓子。「町を歩くおばあちゃんの様子を見たり、話しかけたりして歩き方や話しぶりを研究。熊本のばあちゃんになりきったばいた」と熊本弁で話してくれた。

漱石と、小泉八雲はいずれも熊本の旧制五高で教え、新宿で生涯を終えた。その縁で2012年から熊本で創作劇を作り、新宿と熊本で公演する企画が始まり、その第4弾。主催の漱石来熊120年プレイベント「夢・草枕」制作上演委員会の副委員長、井上智重・熊本近代文学館長は「地方発の劇を東京で上演するモデルケースになったのでは」と話していた。(山根由起子)



**新宿区四谷区民ホール(452席)**  
〒160-0014 新宿区内藤町87番地  
2015年8月29日(土)  
○昼公演 開演14時~16時終演  
来場者数 427名  
  
○夜公演 開演18時~20時終演  
来場者数 220名  
  
合計647名



## ①収入

項目	金額	説明
■チケット販売収入		
前売り券	4,024,525	熊本911枚 新宿448枚
当日券	297,000	熊本59枚 新宿40枚
■補助金		
熊本市文化事業協会	1,000,000	
■助成金		
21世紀ファンド	1,800,000	
熊日文化スポーツ基金	300,000	
RKK財団	300,000	
熊本公德会	100,000	
■協賛金		
お菓子の香梅	300,000	
化学血清療法研究所	300,000	
■パンフレット広告	999,352	
郵便局利子	144	
合計	9,421,021	

## ②支出

■謝礼・出演料		
浜畑 賢吉(俳優)	1,080,000	
■旅費・交通費		
東京公演交通・宿泊	1,376,441	出演者・事務局27名分の交通費・宿泊費
浜畑氏交通費	119,906	浜畑氏関連交通費
半藤先生交通費	88,118	飛行機代(53,580円) タクシー代(20000円) 宿泊(12,264円)
■使用料・賃貸料		
練習場借用費	48,750	
■委託費・製作費		
舞台大道具関連	1,600,000	吉本美術・新宿公演大道具運搬料込み
照明	1,019,880	ステージラボ
衣装・カツラ関係	346,293	
小道具関連	224,065	馬作り物を含む
音楽著作権	17,010	
その他制作費関連	1,542,660	
■印刷費		
デザイン	86,400	ウチダデザイン
チラシ・ポスター・チケット	169,560	A4 表カラー 裏モノ 30000枚
パンフ	352,080	28P 表紙カラー 44Pへ変更
ご案内等印刷	84,000	9P×4000枚
■通信運搬料		
郵送料	369,014	
宅急便	19,839	
レターパック	1,800	
■広告料		
朝日新聞広告料	324,000	首都圏版夕刊・九州版朝刊半5段
熊日新聞広告料	162,000	朝刊半5段
■飲食費		
新宿・熊本公演弁当	164,514	弁当代 飲み物(160,677+追加分3,837)
その他飲食	12,819	
半藤氏ランチ会	210,000	
■手数料		
振込手数料	1,872	照明864円、浜畑事務所864円、城野印刷144円
合計	9,421,021	
収支	0	

チケット内訳

	熊本公演	新宿(昼)	新宿(夜)	合計
▼チケット				
熊日プレイガイド	73			73
チケットぴあ 熊本	31			31
チケットぴあ 新宿		70	39	109
ハガキ返答	388	196	50	634
出演者販売分	194	11	10	215
実行委員販売分	225	38	34	297
当日券新宿		23	17	40
当日券熊本	59			59
小計	970	338	150	1458
▼招待				
招待券	158	111	126	395
協賛・広告社招待	140	5	5	150
プレゼント企画招待	16	0	30	46
小計	314	116	161	591
総合計	1284	454	311	2049